

2009年9月24日

報道関係者 各位

千葉市科学館平成21年度「秋の企画展」開催について

千葉市科学館（館長：大高一雄、所在地：千葉県千葉市中央区）は、10月30日（金）から11月29日（日）まで、秋の企画展「ボンジョルノ、ガリレオ！ ～ガリレオからはじまった科学～」を開催します。

本年は、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け宇宙への扉を開いた1609年から400年の節目の年で、国際連合・ユネスコ・国際天文学連合は「世界天文年」と定めています。宇宙の探求・自然の理解が進み、現代の暮らしは「科学」に支えられています。その原点ともいえるガリレオの業績を改めて見直し、彼が取り組んだ実験や観察の体験を通じ、驚きとともにそれぞれ自分なりの発見をし、科学する心呼び起こす機会となるよう企画展を開催します。

関連イベント等の詳細につきましては別途お知らせいたします。

記

1 企画展名称

「ボンジョルノ、ガリレオ！ ～ガリレオからはじまった科学～」

2 開催期間

平成21年10月30日（金）～11月29日（日）

開館時間は午前9時～午後7時 会期中の休館日はありません。

3 会場

千葉市中央区中央4丁目5番1号 Qiball(きぼーる)内
千葉市科学館7階 企画展示室

4 主な展示の内容（予定）

- ・実験、実験、また実験 —ガリレオの流儀
ガリレオの創意工夫から生まれた科学実験を紹介する。振り子、落体、温度計、レンズなどを使った再現（または模擬）展示を体験する。
- ・天文との対話 —ガリレオは何を見たか
稀観天文書である「天文対話」初版本（1632年刊）実物展示（※千葉市立郷土博物館所蔵）。その内容をわかりやすく解説。天体観測から確信に至ったコペルニクスの地動説を天動説と対比しながら紹介。
- ・チャレンジ！ガリレオ —最新の宇宙
ガリレオの発見と現代の最新宇宙像について紹介する。望遠鏡により明らかになった宇宙の姿と現代のコンピュータ技術を用いたシミュレーションによる宇宙像などを取り上げる。

以上